

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第2章 疾病別の医療連携体制の構築

第5節 精神疾患

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部がん・疾病対策課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 予防
→ うつ病の正しい知識を深め再発予防について理解するうつ病セミナーの開催 (H28: 1回、90人、H25からの累計: 4回、604人)
→ 内科医等のかかりつけ医にうつ病の診断・治療の理解を深める、かかりつけ医うつ病対応力向上研修を4県市で開催 (H28: 5回、240人、H25からの累計: 20回、1,156人)
→ 依存症に関するシンポジウム (公開講座)、及び研修会を開催
・ 依存症に関するシンポジウム (公開講座) (H28: 1回、82人、H26からの累計: 2回、212人)
・ ギャンブル依存症をテーマとした研修会を開催 (H28: 3回、100人、H26からの累計、7回、249人)
(2) 治療・回復・社会復帰 (地域生活)
→ 自殺未遂者や精神疾患があり自殺企図の可能性のある人に対して、指定相談事業所の専門の相談員が訪問する、地域自殺対策強化モデル事業を実施 (H28: 215回訪問、H26からの累計: 400回訪問)
→ 精神の特性を理解した専門人材の養成研修を実施
・ 精神障害者ホームヘルパー養成研修 (受講者 134名)
・ 精神障害者ホームヘルパー現任者研修 (受講者 93名)
→ 精神科病院や関係機関、地域住民等を対象とした精神障害者の地域生活に関する普及啓発を行い、精神障害者の円滑な地域移行へ向けた地域の体制整備を図った。
→ 精神障害者の特性を理解した専門人材の養成研修を実施
・ 精神障害者ホームヘルパー養成研修 (H28: 研修5回 受講者 94名、H25からの累計: 研修22回 受講者 428名)
・ 精神障害者ホームヘルパー現任者研修 (H28: 研修5回 受講者 69名、H25からの累計: 研修26回 受講者 328名)
→ ピアサポートを活用した精神科病院の訪問を行うとともに、関係機関への研修等を開催 (H28: 病院訪問 20回 研修5回、H25からの累計: 病院訪問 65回 研修等 53回)
→ 認知症疾患医療センターを設置 (累計 10か所、H25~H28の設置数: 4か所)
→ 認知症に関する情報共有ツール「よりそいノート」を48,000部作成 (H28: 0部、H25からの累計 48,000部)

(3) 精神科救急医療の受入体制の充実	
→	夕方から夜間の受け入れ医療機関数を9機関確保(再掲)
→	精神科診療所を継続的に受診している患者について標榜時間外においても救急情報センター等から電話での問い合わせに応じる体制を維持(再掲)
(4) 身体合併症の受入体制整備	
→	一般救急での受入体制の強化として、精神疾患を有する傷病者に係る基準の受入医療機関確保基準に記載する身体合併症対応施設2医療機関に加えて、さらに4医療機関を追加指定する調整の実施(再掲)
(5) 専門医療	
→	県立精神医療センターを依存症治療拠点機関に指定し、依存症対策を検討する依存症対策協議会の開催を実施し、普及啓発や関係機関のネットワークの構築を開始(再掲)
→	拠点の役割を担う県立こども医療センターと地域の精神科医療機関の診療ネットワークづくりを継続実施
(6) その他	
→	精神疾患対策の圏域の検討について、具体的な取り組みは未実施

2 目標値の推移

取組区分	名称	単位	策定時	実績値(H28)	達成目安	目標値(H29年度)	達成率(%)	備考
(1)	かかりつけ医等うつ病対応力向上研修受講者数(累計)	人	1,122(H23)	2,612(H28)	2,622	3,000	○ (99.3%)	事業報告(H20~H28)
(2)	1年未満入院者の平均退院率	%	72.9	73.1(H25)	73.9	77.9	△ (20.0%)	精神保健福祉資料
(2)	認知症疾患医療センターの設置数	か所	6	10	11	11	○ (80.0%)	—
(3)	夕方から夜間の受入医療機関数(再掲)	病院	8	9	9	9	◎ (100.0%)	—
(4)	精神科急患・身体合併症対応施設数(再掲)	病院	0	6	6	6	◎ (100.0%)	—
(5)	児童精神科拠点病院と連携する有床精神科医療機関数	病院	10	13	12	12	◎ (150.0%)	—

3 参考指標の推移

取組区分	指標区分	指標名	単位	神奈川県内				備考
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 予防

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	疾患別の普及啓発として、うつ病セミナーの実施やかかりつけ医へのうつ病の対応力向上研修を継続実施し、依存症については、一般県民向けのシンポジウム（公開講座）の他、医療機関等の職員を対象とした研修会を開催した。
評価理由	かかりつけ医うつ病対応力向上研修では、受講者数が数値目標の目安を達成できなかったが、依存症治療等に関する普及啓発、人材養成は順調に進捗している。
今後の取組の方向性(29年度に向けた取組の方向性)	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医うつ病対応力向上研修について継続実施し、かかりつけ医と精神科医との連携について検討する。 ・依存症に関するシンポジウム、研修会を継続実施し、依存症治療等における地域連携体制について検討する。
次期計画に向けた取組の方向性	引き続き、疾患別の普及啓発、人材養成を実施し、県内の底上げを図る。

(2) 治療・回復・社会復帰

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺未遂者や精神疾患があり自殺企図の可能性のある人に対して、指定相談事業所の専門の相談員が訪問する、地域自殺対策強化モデル事業を実施した。 ・精神障害者ホームヘルパー養成研修や現任者研修を実施し、精神障害の特性を理解した専門人材を養成した。 ・ピアサポートを活用した精神科病院の訪問を13回、関係機関等への研修を16回開催し、精神障害や精神障害者の地域生活等に関する理解促進を図っている。 ・精神障害者ホームヘルパー養成研修や現任者研修を実施し、精神障害の特性を理解した専門人材を養成した。 ・ピアサポートを活用した精神科病院の訪問を行うとともに、関係機関等への研修を開催し、精神障害や精神障害者の地域生活等に関する理解促進を図った。 ・認知症疾患医療センターの設置や「よりそいノート」の作成などの取組みを実施し、認知症に関する医療と介護の地域連携を図った。 ・数値目標に掲げる認知症疾患医療センターの設置数については、数値目標の達成率は80%であり、おおむね順調に進捗している。 ・数値目標に掲げる1年未満入院者の平均退院率については、施策が数値に反映されるまでに相当の時間を要することから、数値目標の目安の達成が遅れている。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援の実績も伸びており、地域における関係機関との連携強化が図れるなど、比較的順調に進捗している。 ・精神の特性を理解した専門人材の養成を着実に進めており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における精神障害者の受入れのための体制整備について、比較的順調に進捗している。 ・精神障害の特性を理解した専門人材の養成を着実に進めており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。 ・地域における精神障害者の受入れのための体制整備について、比較的順調に進捗している。 ・認知症対策については、認知症疾患医療センターの設置に関する数値目標の達成に向けて順調に進捗している。
今後の取組の方向性(29年度に向けた取組の方向性)	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中から退院に向けた支援を強化していくことについて引き続き検討する。 ・H28年度に引き続き、精神障害の特性を理解した専門人材の養成を推進する。 ・H28年度に引き続き、精神障害者の円滑な地域移行へ向けた地域体制の整備を進める。 ・認知症サポート医が参画する、市町村による認知症初期集中支援チームの設置を支援する。
次期計画に向けた取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、自殺ハイリスク者等の訪問支援を行うことで、地域における関係機関の連携強化を推進する。 ・関連する次期障害福祉計画の基本指針において、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」が成果目標の一つとされたことを踏まえ、入院中の精神障害者の地域移行を含め、精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、支援体制の整備を進める。 ・「かながわ高齢者保健福祉計画」の改定に合わせて検討予定。

(3) 精神科救急医療の受入体制の充実

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方から夜間にかけて、受入困難な時間帯の解消に向けて体制確保に取り組み、数値目標の達成目安の受入医療機関を9機関確保した。(再掲) ・身近な地域での受入体制整備に向けて、神奈川県精神神経科診療所協会と調整し、精神科診療所を継続的に受診している患者は標榜時間外においても救急情報センター等からの電話での問い合わせに応じる体制を整備・維持した。(再掲)
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急医療体制を見直し、切れ目のない受入体制を推進するなど、課題解決を図った。(再掲)
今後の取組の方向性(29年度に向けた取組の方向性)	28年度に引き続き、精神科救急医療体制における受入体制整備について推進する。(再掲)
次期計画に向けた取組の方向性	今後も引き続き、受入れが困難な時間帯(深夜帯等)について切れ目のない体制や身近な地域での受入体制を整備する。

(4) 身体合併症の受入体制整備

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	・精神疾患と身体疾患を合併する救急の取り組みとして、精神疾患を有する傷病者に係る基準の受入医療機関確保基準に記載する身体合併症対応施設を調整し、2医療機関から4医療機関を追加指定し、6医療機関とした。(再掲)
評価理由	・身体合併症対応施設の指定を着実に推進し、数値目標の目安も達成するなど、課題解決に向けて順調に進捗している。(再掲)
今後の取組の方向性(29年度に向けた取組の方向性)	・28年度に引き続き、一般救急での受け入れ体制整備について推進する。(再掲)
次期計画に向けた取組の方向性	広域的な身体合併症対策の推進とともに、地域における身体合併症受入体制の充実を検討していく。(再掲)

(5) 専門治療

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	・依存症治療拠点機関設置運営事業を実施することにより、依存症患者の受入体制の整備や依存症に関する普及啓発を進めた。 ・児童精神科医療について、拠点の役割を担う県立こども医療センターと地域の有床の精神科医療機関に診療ネットワークづくりを引き続き実施した。
評価理由	・依存症患者の受入体制整備に向けた取組みを推進し、課題解決に向けて順調に進捗している。 ・数値目標に掲げる児童精神科拠点病院と連携する有床精神科医療機関数は、診療ネットワーク参加医療機関が数値目標を達成しており、順調に進捗している。
今後の取組の方向性(29年度に向けた取組の方向性)	・今後も引き続き、薬物等依存症患者の受入体制整備を推進する。 ・児童精神科医療について、診療ネットワーク参加医療機関を維持する。
次期計画に向けた取組の方向性	国のモデル事業を活用し、薬物及びアルコール・ギャンブルを含めた依存症患者の受入体制整備を進めてきたが、さらに全県的な体制構築に向けて総合的に依存症対策を推進する。(再掲) 地域における依存症の専門医療機関の選定について検討し、薬物等依存症患者の受入体制をさらに整備する。(再掲) 今後も診療ネットワーク参加医療機関を維持し、地域の医療機関との連携を推進する。

(6) その他

評価	A ・ B ・ C ・ (D)
評価分析	・精神疾患対策の圏域の検討についての具体的な取り組みは未実施。
評価理由	・圏域について検討を進めるにあたり、課題解決に向けて課題を整理している段階である。
今後の取組の方向性(29年度に向けた取組の方向性)	精神疾患対策の圏域について検討を継続する。
次期計画に向けた取組の方向性	引き続き検討を継続し、課題整理を行う。

5 総合評価

評価	評価理由
B	精神疾患対策においては、うつ病対策の他、依存症対策が推進されており、比較的順調に進捗している。

6 特記事項

--